

情報通信技術（ICT）の進歩によって私たちの生活の利便性は向上する一方で、生活の多様化・複雑化に伴いプラスの側面ばかりとは限りません。技術の進化は私たちの一人一人の生活を変えるとともに、他者や生活環境との関わり方をも変えていきつつあります。このような状況のもと人が技術・社会・環境と相互に豊かに関わるためのコミュニケーションの研究を横断的に議論する必要性から、ヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）では、平成16年から隔年で、平成25年からは毎年特集を発行してきました。独自の論文誌を有していないヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）の会員にとって、「ヒューマンコミュニケーション」特集は貴重な情報提供の場となってきました。

さて、今回の「ヒューマンコミュニケーション」特集号、英文論文誌 IEICE Transactions on Information and Systems で企画致します。英文論文誌 D はオープンアクセスジャーナル化されており、皆さまの日頃の研究成果を国際的に広く発信する絶好の機会となります。また、英文誌であるものの、査読は日本語で対応をすることも可能です。是非とも積極的に投稿を御検討下さい。

### 1. 対象分野

- ・ヒューマンコミュニケーション基礎
- ・ヒューマン情報処理
- ・メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎
- ・福祉情報工学
- ・発達障害支援
- ・ヒューマンプロンプト
- ・食メディア
- ・情報の認知と行動
- ・ヴァーバル・ノンヴァーバル・コミュニケーション
- ・魅力工学
- ・リアルタイムコミュニケーション言語
- ・その他、ヒューマンコミュニケーションに関する全般、あるいは新領域

### 2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の英文論文と同一とします。
- ・ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors ([https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_iss.html](https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)) を御参照下さい。
- ・査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合があります。

### 3. スケジュール

- ・投稿期限 2021年4月16日（金）（厳守）
- ・論文発行 2022年3月号

### 4. 投稿方法

- ・電子情報通信学会論文投稿システム（下記 URL）を用いて「IEICE Transactions on Information and Systems」の「Human Communication」へ電子投稿して下さい。
- ・[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx)
- ・日本語での査読を希望される場合は、投稿時に Web フォームのコメント入力欄「[9] Any further inquiries and comments to the IEICE Publishing Office」に「日本語での査読希望」と御記入下さい。

### 5. その他の注意事項

- ・招待論文を含むすべての著者は、論文が採録となった場合、2021年11月頃に掲載料をお支払い頂くこととなります。2021年12月15日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。
- ・投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <https://www.ieice.org/jpn/join/index.html>
- ・オープン化：2017年1月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌 D のすべての論文を、J-STAGE を通じて全世界の読者へ公開しています。2020年1月号以降に掲載される論文には、電子情報通信学会の多くの論文誌で

適用することができるオープンアクセスオプションを適用することができなくなります。(オープン化は、2020年1月以降も継続する予定です。) オープン化とオープンアクセスオプションに関する詳細は、“Information for Authors” ([https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_iss.html](https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)) を御参照下さい。オープン化とオープンアクセスオプションに関しては、予告なく変更されることがあります。

#### 6. 小特集編集委員会

委員長 小森政嗣 (大阪電通大)

副委員長 寺田和憲 (岐阜大)

幹事 新井田統 (KDDI 総研), 高嶋和毅 (東北大), 安藤英由樹 (大阪芸術大)

委員 道満恵介 (中京大), 永井岳大 (東工大), 酒向慎司 (名工大), 藤田和之 (東北大), 塩野目剛亮 (帝京大), 坂井田瑠衣 (NII), 川崎真弘 (筑波大), 小川浩平 (名大), 大本義正 (静岡大)

#### 7. 問い合わせ先

小森政嗣 (大阪電気通信大学) [komori@osakac.ac.jp](mailto:komori@osakac.ac.jp)